

# 実験学校の研究のあゆみ

## 近接学年合併による体育科協力教授

安達町立下川崎小学校長 高 荒 敏 一  
 福島県教育センター研究・相談部長 星 正

### 1. 学校の実態

本校は、過疎化現象がみられる農山村地帯にある。保護者の90%以上は、農業経営者であるが、割合に出稼ぎが少なく、生活の安定がみられる。教育的関心も強く学校に対する協力体制がよい。

1 学年1 学級（計6 学級）、児童数86名、職員数8 名（男6 名、女2 名）という小規模校である。

### 2. 研究テーマ

小規模校における学習指導の改善

「教材領域の特性に応じた協力教授過程をどのようにしたらよいか」

### 3. 研究内容

- (1) 協力教授年間指導計画の改善と授業研究の進め方。
- (2) 段階的な教授過程における複数教師（T<sub>1</sub>・T<sub>2</sub>）の役割とその活動のあり方。
- (3) 教材の特性や能力差に応じた学習集団の編成。

### 4. 研究の概要

——「協力教授年間指導計画の改善」を中心に——

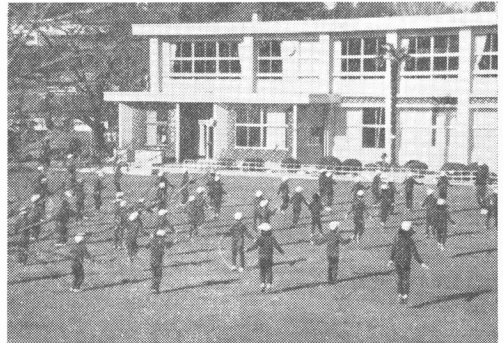
#### (1) 協力教授年間指導計画作成の観点

- ① 管内標準カリキュラムをもとに、近接学年合併体育（協力教授）の実施に応じうる指導計画とする。
- ② 指導目標は、合併近接学年の上学年におく。ただし次の点に留意する。
  - ・ダンス領域はA・B年次とし2 年間で指導する。
- ③ 1 単位時間を40分 とし、年間時数は、第1 学年102時間、第2 学年以上105時間とする。
- ④ 1 単位時間に扱う教材数は、2 教材を原則とするただし低学年は2 以上の場合も考慮する。
- ⑤ 第1 学年の第1 学期は、原則として合併授業はおこなわない。

#### (2) 指導計画の作成

教材領域毎に目標と内容の系統性をおさえ、充実した協力教授をすすめるため、次の計画を作成した。

- ① 領域別指導計画
- ② 年間指導計画
- ③ 月間時間配当表



#### ④ 月別指導計画

#### ⑤ 授業前、後ミーティング（計画と反省）

※ (3) 「授業案作成の手順」参照

#### (3) 授業案作成の手順

（低学年体育「ふみこし」を例に）

- ① 領域別指導計画によって、とび箱運動の観点から目標と内容を明確におさえる。  
 領域別指導計画（器械運動）

種別	教材(時数)	目 標	学習内容・活動
と	またぎこし (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひざぐらいの高さのとび箱で安全にまたぎ越しができるようにする</li> <li>・軽い助走をし、右足でも、左足でもふみ切り、バランスを保ってまたぎ越しができるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひざぐらいの高さのとび箱をこわがらないで、リズムカルにまたぎこす。</li> <li>・連続しても調子よく障害物をまたぎ越す。</li> </ul>
	ふみこし (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひざぐらいのとび箱で、ふみ越しができるようにする。</li> <li>・右足でも左足でもふみ切り、なめらかにふみこすことができるようにする</li> <li>・強くふんで高くとべるようにする</li> <li>・強くふんで速くとべるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひざ位の高さのとび箱で、調子よく安全にとぶ。</li> <li>・右足でも左足でもふみ切るととぶ</li> <li>・2 つ以上のとび箱を連続してふみ越しする。</li> </ul>
箱	腕立てとび上がり とびおり (4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助走、両足ふみ切り、腕立てとび上がり調子よくできるようにする</li> <li>・片足や両足でふみ切るとびおりが安全にできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽く助走し、両足でふみ切る。</li> <li>・両手をついて足先からとび上がる。</li> <li>・一歩歩いてとびおりる。</li> <li>・助走、ふみ切り、腕立てとび上がりとびおりの動作がとぎれないようにとぶ。</li> <li>・動作の大きいとびおりをする。</li> </ul>